

ZEB 実証事業における地中熱の利用

■事業及び発電設備の概要

「環境に配慮した店づくり」はイズミの環境方針であり、店舗計画にあたっては、エネルギー面での快適性をさらに進化させた、ZEB 化ショッピングセンターを目指している。

新たなチャレンジとして、空調設備では、高効率統合熱源システム（高効率熱源機器＋最適制御）をベースとしながら、先進的な地中ヒートポンプを採用している。また、LED 照明を標準化し、先進的な有機 EL 照明の試験的導入も計画している。屋上には、社会的期待のある太陽光発電を大規模に導入するとともに、普及啓蒙活動としてデジタルサイネージによる店内モニターへの省エネ情報の表示にも取り組んでいる。

また、自動車排気を減少するため、駐車場に車両誘導システムを導入し、うろつき走行の減少を図るとともに、電気自動車の充電ステーションを設置するなど、多方面での環境配慮への取り組みを実施している。

■事業実施上の課題

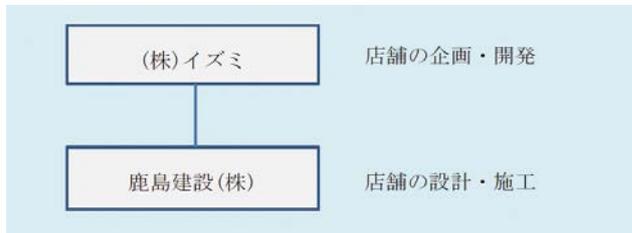
郊外型大型店舗の特性から、省エネへの取組は必須の課題であった。

建物の空調特性は年間を通して冷房需要が圧倒的に多いことため、当該特性に合致した設備の導入が必要であった。また、照明の設置数が非常に多いため、この視点からも省エネへの対応は不可欠であった。

さらに、廿日市市の都市計画のシンボル施設として、再生可能エネルギーに係る取組への期待もあり、対応が必要であった。



■事業の実施体制



■利用した施策と内容

「住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業【ZEB 実証事業】」

郊外型大型店舗において、太陽光発電、地中熱利用のほか、高断熱、高性能設備機器等を組み合わせることにより大幅な省エネルギーを実現する。

■施策を利用したことによる事業の成果

施策の利用により、ZEB 化した郊外型大型店舗の建設ができたという成果があった。

施策の内容が、「環境に配慮した店づくり」という当社の環境方針と合致し、かつ、店舗のオープン日を考慮した作業工程と補助事業の実施期間が時期的に整合し、当該施策の利用が当社にとって非常に有益であったため、当該施策を利用している。

都市計画のシンボル施設として、省エネに取り組みながら、地域貢献できることが重要な成果である。

■問い合わせ先

株式会社イズミ 開発本部

住所：広島県広島市東区二葉の里3-3-1

URL：<http://www.izumi.co.jp/corp/>